

作成日	2020/9/7	作成者	高木
-----	----------	-----	----

打ち合わせ議事録

議 題	令和2年度 厚生労働省科学研究費 の進捗共有と今後の進め方について		
日 時	2020/9/7(月) 11:00~11:40	場 所	Web 会議
出席者	橋本、大嶽、高木 (敬称略)		
資 料	なし		
議 事 要 約	1. データ構造化の進捗共有 2. NPO設立について 3. 昭和大学での取り組みについて 4. 厚労科研 中間報告会の開催について		

項 番	議 事 詳 細	備 考
1	<p>データ構造化の進捗共有 (高木)</p> <p>現在、重症系部門システムから抽出できるデータについて、データの構造化、データ標準化を進めている。</p> <p>ECMO、透析、人工呼吸などの医療機器に関連した情報（指示、観察項目、関連する処置）などの情報をMind Mapで可視化したのち、Excelで表にしている。</p> <p>これらを元に、各社とヒアリングを行い、各社の医療機器からのデータ抽出をした後に標準化されたデータへと変換する、もしくは、標準化されたデータ形式で抽出してもらう形を考えてもらおうと思っている。</p> <p>実際にシステムの開発まで進むのは、来年度以降となり、場合によっては別の研究費を取得する必要があるかもしれない。</p> <p>引き続き、データ構造化の進捗を共有していく。</p>	
2	<p>NPO設立について (高木)</p> <p>集中治療領域では、Tele-ICU, JIPAD, Datathonなどデータを取り扱う事業が散見しており、これらを統合した形で方向性を同一にしていきたい。</p> <p>各事業が行っている事の整合性を取れるようにしていくために、NPOを設立して、一括して管理していくと良いと考えている。</p> <p>理事長に相談したところ、まずは遠隔ICU関連で設立をして、遠隔ICUでカバーされている施設向けにJIPADやデータ抽出といった点で協力してもらおうと良いのではとコメントを頂いている。</p> <p>8/21の理事会でNPO設立の承認は得られており、今後、設立準備を進めていく段階である。</p> <p>今後、NPOで研究費や企業からの寄付を受けて活動を続けていきたい。</p>	
3	<p>昭和大学での取り組みについて (大嶽)</p> <p>PHILIPS : Tele-ICUシステム (eCare Manager) が医療機器・薬機の認可を取得した。</p> <p>今後、普及に向けて戦略を立てている段階である。</p>	

項番	議事詳細	備考
	<p>研究ベースとしては、eCare Managerから後方視的にデータを抽出して、そこから開発を行っていく予定である。</p> <p>eCare Manager からのデータ抽出に関しては、PHILIPSのAI部隊が参画しており、抽出したデータをAI解析により新しい予測アルゴリズムを作ろうとしている。</p> <p>本研究はPHILIPSの東北にいるAIチームが進めており、eCare Managerのチームとは別チームである。。</p> <p>今回のAI解析は厚労科研のプロジェクトとして進めているため、PHILIPSの商品として開発をするのは難しい。</p> <p>また、昭和に導入されているeCare Manager自体のバージョンが古いため、そのままアルゴリズムを載せることは難しいと思われる。</p> <p>今回の案件はデータサイエンティスト達の勉強という形になり、開発段階までは行かないと思われる。厚労科研の案件のため、解析に関してはオープンにってもらう必要があるとPHILIPS側にも伝えていく。</p> <p>(高木) 日本のデータとeCare Manager比較検討をさせていただきたい。</p> <p>(大嶽) PHILIPSチームに相談して、eCare Managerからデータを抽出してもらえると良い。</p> <p>(高木) 担当者に高木から依頼の連絡をしていく。</p> <p>4 厚労科研 中間報告会の開催について (大嶽)</p> <p>厚労省側から研究に関するKick Off MTGなどの予定はないか質問が来ている。</p> <p>厚労科研のメンバー以外にどこまで呼ぶのが良さそうか？</p> <p>厚労省・企業など幅広く呼ぶのが良いか？</p> <p>ミーティングは定期的な開催を指しているのか、年に1回程度で良いのか？</p> <p>(橋本) Kick Off MTG以外に議事録をしっかり残して、活動をしている事の報告が必要である。</p> <p>(高木) 以前の厚労省の調査研究費を獲得した際には、分担研究者、30社80名程度の企業の方も読んで、Kick Off MTGを開催した。今回もその様な内容で、進めていくと良いと思う。</p> <p>来年度の厚労科研の申請の日程に間に合う様に開催すると良いと思うが、次のタイミングはいつか？</p> <p>(大嶽) 12月から1月くらいに令和3年度の申請をする予定である。</p> <p>今年度の成果報告に関しては令和3年6月頃に報告をして、質疑応答に対応する形となる。</p> <p>(高木) では、申請に間に合う様に令和2年12月頃にオンラインセミナーを開催すると良いと思う。</p> <p>Peatexに相談をして、オンラインセミナーの開催について相談をしていく。</p> <p>演者は厚労科研で研究費を取得しているメンバーが良いと思われる。</p> <p>下記の概要で開催を予定。</p>	

項番	議事詳細	備考
	<p>日程：12月13日（日曜）13:00～14:00 1時間程度</p> <p>演者候補：大嶽、橋本、高木、大下、飯塚、厚労省</p> <p>今後、複数企業向けにセミナー開催について配信していく。</p> <p>厚労省の方に参加可能か確認をする。→ 高木</p> <p>(大嶽) JIPAD, CRISISなどの案件について、橋本先生より講演していただきたい。</p> <p>(橋本) 現在、国からも注目されており、重症化した患者の発生状況については、国もCRISISを活用していく方針である。</p> <p>(大嶽) 慶應大学の宮田先生などにも講演を依頼できると、非常に魅力的な講演になると思われる。 講演可能か依頼してみる。</p> <p>(高木) 次回の遠隔ICU委員会においても、本日の内容について共有していく。</p>	

以上